

「新聞読んで読解力向上」

局長次長 西宮の中学で講義

教育現場で新聞を活用するNIEに取り組んでいる西宮市立平木中学校（同市平木町）で14日、産経新聞神戸総局の宮本尚明次長が1、2、3年の生徒約400人に対して講義を行った。写真。

同校は1年生から社会科の授業で新聞を切り抜いて感想を書くノートを作成するなどNIEに力を入れており、県NIE推進協議会の指定校になっている。

宮本次長は新聞記事の作り方や見出しのつけ方などについて自身の経験を踏まえて



説明し、「ニュースの価値を伝えるのも新聞社の役割。新聞を読むことで興味の幅が広がるし、読解力の向上にもつながる」と呼びかけた。

毎日欠かさず新聞を読むという3年の谷口淳さん(14)は「新聞記事の作り方は初めて知った。いち早く取材をして発信する記者の仕事はすごいと思った」と話していた。

